

えん罪・仙台 北陵クリニック事件

守大助さん面会記

2012年1月 千葉刑務所 NO・41

激励先 〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さんへ

1月の面会日は12日、16日、30日
2月の面会日は3日、日、27日
面会申込は救・神奈川県本部 050-3310-1368 fax045-663-7953
e-mail kyuenkai-k2@clock.ocn.ne.jp
発行:救・千葉県本部Tel043-251-7351 fax043-251-4159
E-mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

◆12月2日(金)寒い日、吉元、鳴海(千葉・東葛)

刑務所はまるで、ヨーロッパかと思うほどの別世界。順番を待つ家族。若手、古手の弁護士らしき人も私たちと狭い受付室で面会許可を貰った。

月3回の大事な面会時間が無駄にならずにほっとしました。何を聞こうかと緊張していると10分待ちで五つのドアがある、手前の部屋に入るように言われた。

ノックして開けると大助さんが笑顔で、刑務官と横並びでガラス越しに座っていた。慌てて帽子を脱ぎ、自己紹介をする。

まず、DVDの病院に訪ねてきた警察官の案内の様子から聞いた。「案内はしていませんよ!」さらに大助さんは「半田医師からしばらく休んで欲しいと言われてたが年末年始の勤務まで働かせてくださいと頼んだが受け入れて貰いなかった」「その後1月にアパートに警察官が来て、尋問され君が犯人でなければ彼女かと脅迫をされた。どう判断良いか混乱した。」面会の前日に「前川さんに再審が出されたので頑張れりましょうと声をかけるのが精一杯でした。」 **吉元さん**

◆面会前後も文通をお願いします!

大助さんはガラス越しに優しくそうな笑顔で迎えて、私は緊張していました。自己紹介の時に言葉が詰まると「鳴海さんですね」。

御両親の話をする、お母様のことをかなり心配しておられました。

大助さんは「真実が判れば警察も間違いを理解してくれると疑いもせず軽い気持ちで警察に従った。弁護士と接見した後は、一貫して無実を主張して10年。医療関係者にも検証してほしい」と訴えられています。

鳴海さん 同行戸賀

◆面会時にお忘れなく! 身分証明を! ◆

面会スケジュール連絡表でもお知らせしていますが、最近身分証明をお忘れの方が続いています気をつけてください。

差入物品の変更に注意を

書籍・雑誌は1月から一人3冊。パンフ・写真は10枚
衣類・下着 日用品は差入れはすべて売店から購入です。
衣類・下着など外部差入れより値段が高いのかな?



岩手・花巻救援会



◆12月26日(月)寒い日 御両親と妹さん

今年最後の面会は妹さんが一人で久しぶりに行いました。お互いの共通の友達の話や近況をとゆつくり話せたのですが白い垣根があることに不思議な感じだったと妹さんが…。大助さんからは

「茨山の皆さんにご支援と面会を頂き、良いお年を迎えてください!」御両親から「茨震災、祐子さんの入院、とご心配かけました。来年は再審に向けて一層お力を貸してください!」帰りの東北道は飯坂～白石間雪で規制されて26日夜中に帰宅。



千葉・東葛の会

えん罪・仙台北陵クリニック事件とは

守大助さん(当時29歳)が、勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて、患者五人の点滴に筋弛緩剤マスキュラックスを混入したとして2001年に逮捕。仙台拘置所に身柄を拘束されました。仙台地裁、高裁。最高裁で「無期懲役」が2008年2月25日確定。2008年7月から千葉刑務所に服役中です。

しかし、大助さんには動機もなく5人の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果とは矛盾し、科学鑑定も否定され、試料も警察に廃棄され再鑑定が妨害されている。

現在再審準備中

◆12月8日(木)小田嶋(花巻)、菅原

長く待たされる思ったが幸運なことに10分ほどで順番回ってきました。狭くうすよごれてた部屋でした。

面会にはカメラ 倦怠 手帳など持ち込みは禁止、メモ用紙と筆記用具だけで入室。

「救済新聞」掲載の写真を記憶していたので認識が出来ました。テレビや新聞などで世の中の動きを知ることができるが、所詮、堀の外の出来事だというのが実感だ!」仕事は靴を作っているすべて自力で、今まで13足を完成させたが女性の靴は小さくて大変だ」と言っていました。あつという間の面会でしたがよかったですと思います。 **小田嶋さん**

差入れは現金、ちり紙、歯磨き粉、週刊誌
同行は金野さん、戸賀